

公共事業事前評価調書

[評価調書作成者 農村計画課長 福島 理仁]

事業プロフィール

【事業概要】

ふりがな 事業名	のうぎょうせいさんきばんせいびじぎょう (のうぎょうきょうそうりょくきょうかのうちせいびじぎょう けいえいたいいくせいがた) 農業生産基盤整備事業 (農業競争力強化農地整備事業 経営体育成型)
ふりがな 地区名	すもとちゅうおう 栖本中央 地区
事業箇所	天草市栖本町
事業担当課(室)	農林水産部 農村計画課 (調査計画班 内線 5496)
事業期間	令和2年度 (2020年度) ~ 令和7年度 (2025年度) (6 年間)
総事業費	625 百万円 (うち県費 172 百万円)
事業内容	受益面積A=23.9ha 区画整理工A=23.9ha
事業目的	<p>本地区は天草市栖本町の河内川の最下流に位置する水田地帯で、水稲、たばこ等の営農が展開されている。</p> <p>地区内の農地は小区画で、道路幅員は狭く、水路は用排水兼用となっている。そのため、大型機械導入や農地集積に支障を来していたり、地下水位の低下が図れず維持管理等に多大な労力を要している状況である。</p> <p>これらの課題を解消するため、本事業を実施し、作業の効率化及びたばこ、レタス等の高収益作物の導入による所得向上を図り、併せて担い手への農地集積を推進する。</p>

【現況写真】



写真①



写真②

(事業着手前の状況)

【写真①】

現況道路は幅員が狭いため、離合が出来ず、農産物の搬出入、機械の大型化に支障を来している。

【写真②】

現況水路は用排兼用の土水路のため、法面崩壊等により排水不良を起こし、作付に支障を来している。

【 検討状況 】

技術的難易度	標準的な工法で実施
費用便益比	B/C = 1.15
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)</p> </div>	<p>現在、各農家が所有地を中心に営農を実施しているが、生産基盤の遅れや高齢化等による労働者不足も深刻化している。また、現況の基盤のままでは水田の汎用化が図れず裏作の導入や担い手への集積拡大も困難な状況にある。</p> <p>このため、本事業を実施しなかった場合は、後継者不足等が深刻化し耕作放棄地の発生が懸念される。</p> <p>本地区の受益者は、担い手の育成を考慮した基盤整備の必要性を十分認識している。また、営農検討会の結果を踏まえた作付計画及び担い手への農地集積計画を策定しており、本事業による整備が最も有効である。</p>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法 今後実施予定 ・文化財保護法 協議済み ・道路法 協議済み ・河川法 協議済み

【 周辺状況 】

関連事業	なし
市町村、地元の状況	<p>天草市は、農業振興地域整備計画や事業管理計画の中で本事業を実施すべき事業と位置づけ、地元は、事業推進委員会を組織しており、市及び地元の事業推進体制は整っている。</p>
説明会の開催状況と関係者の意向	<p>これまで天草市、事業推進委員会を中心として地元説明会を開催し、計画内容の説明を行い関係者から了解を得ている。</p>

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 【工事に伴って発生する汚濁が河川に流出しないよう、汚濁処理に配慮する。】	有
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価表

(区画整理・再整備)

評点:重要性、必要性、緊急性、効率性(事業効果)

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
①重要性	1)事業計画の位置付け	5	a	5
	2)事業の広域性(市町村合併支援等)	5	b	4
		10	計	9

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
②必要性	3)特定地域振興	5	c	3
	4)受益者の仮同意状況	10	a	10
	5)用地・換地の状況	10	a	10
	6)事業実施による営農効果	15	a	15
		40	計	38

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
③緊急性	7)他の公共事業や施策との関連	5	d	2
	8)事業の緊急性	15	a	15
	9)担い手への集積について	10	a	10
		30	計	27

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
④効率性(事業効果)	10)費用対効果の算定	20	d	8
		20	計	8

合計		評点
100		82